

平成23年5月(2011年) No.545

随想

「普通」でいられるこのと幸せ

会長 合原一夫

今年3月11日に発生した東日本大震災並びに福島原発事故のニュースは、1ヶ月半過ぎた今も、新聞、テレビ等で毎日報道されています。そして多くの方々が亡くなり、また避難所生活を余儀なくされている方が大勢いらっしゃいます。こうした災害に遭われた方は、早く元の生活に戻りたい、普通の生活がしたいとの思いで一杯でしょう。

私事ですが、私もあの震災の翌日、外出先で頭痛、めまいで歩けなくなり、救急車のお世話になりました。幸い大事には至らなかったのですが、今でも集中的に何かに取り組むと頭痛が生じたりしますので薬に頼っている始末です。こうなってみますと、普通に生活できる、動き回れる、頭も使える、ということは大変幸せのことだったんだ、と改めて再認識いたしました。元気なときは、それが空気のように何も考えずにやってきたことが、いざ、災害や事故や病気でそれが出来なくなったとき、「普通」であることの有難みが身にしみて感じられるものなのです。

どうか皆さん、自由に動ける「今」を大事に過ごして下さい。ビデオも元気なうちにどしどし撮影に出かけ楽しんでください。私もハイビジョンになる前、DVで撮った旅の未編集テープを眺めながら、今では貴重な記録の様に思い、何とか纏めて陽の目を見させたいと思っていますところです。

散歩を楽しみ、ビデオに熱中になり、毎月の例会で同好の仲間たちと楽しみ語り合える、この普通のことを大事にしなければなりませんね。

5例会のお知らせ

5月例会は予告の通り第3土曜21日午後6時から、難波市民学習センター(JR難波OCATビル4階)にて開催します。撮影会の都合で1週間早く来ていますのでお間違えない様に願います。

■予告：撮影会作品コンテストは7月例会日の午後13時30分より例会場にて開催しますので、撮影会参加者はそれ迄に纏めて下さい。

■撮影会は5月28日(土)出発

白浜での撮影会は28日特急スーパーくろしおに乗車、新大阪9時3分天王寺9時22分発です。大阪駅を経由しないので間違えないようにして下さい。現地ではビデオサークル紀南の会長他有志の方々にご案内をして頂くことになっているそうです。

4月例会のレポート

4月例会は第4土曜日23日18時より開催。桜も新緑に変わり一段と鮮やかな季節になりました。先月は体調を崩されて欠席した会長もお顔を見せられて安堵しました。司会は有村氏、書記、前田氏、映写係、井上、江村、河合の三氏、受付兼照明係は紙本、宮井の両氏で会を進行。

■出席者：有村、井上、上田、江藤、江村、岡本、上総、蟹江、紙本、河合、黒田、合原、関、進藤、田中、華岡、船橋、前田、宮井、宮崎、森口、森下、森田、山本、吉岡の25氏の出席と作品14本の出品でした。

■上映(今月の講評は前田世話役です)

1. 春がきた(HDV)

吉岡 貞夫さん 6分55秒

伊丹市の天神川堤防に咲きほころぶ桜を撮ってこられた作品。抜けるような青空をバックに満開の桜が美しく収められています。アップ、ミディアム、ロングとテンポを持たせてカットを使い分け桜の花の美しさを満喫させてくれました。花だけではなく堤を行く人々の情景も交えて日本の春の風景を表現しています。桜の撮影には青空が欲しいという見本のような綺麗な作品でした。

2. 公園の春(HDV)

有村 博さん 8分56秒

大阪城公園、桜ノ宮公園、長居公園、花博公園の四公園の春の花をまとめた作品。桜の花がメインですが、水仙、桃、椿、チューリップ、レンギョウ等々沢山の花を散りばめて春の明るさを表現されていました。百花繚乱とはこのような風景かと思いました。前作同様に青空がバックで抜けるような美しさでした。桜をスケッチする女性の後姿は特に印象的でした。あと数カット見たかったと思いました。長居公園は電車で行ったが、他の三公園は自転車で廻ら

れたとか。お疲れ様でした。

3. スリランカ鉄道(HDV)

山本 正夢さん 12分00秒

スリランカへ一人で行って撮られたとか、この作品は鉄道だけを纏めています。他の被写体も撮られているでしょうから来月以降が楽しみです。駅に進入してくる列車のシーンの線路状態の悪さに驚きましたが、ガタゴト揺れながら走ってくる列車ですが、脱線しないかと心配になります。どの列車も超満員で、開け放したデッキにぶらさがって乗っている人もいます。さながら戦後の一時期の日本の鉄道を思い出しました。機関車もカナダ製、韓国製、中国製、ドイツ製等さまざまあってメンテナンスの部品調達が大変だろうかと心配しました。軌間は広軌で1676mmあります。正面から見ると、線路幅の広さがよく判ります。ちなみに日本の新幹線、一部の私鉄、ヨーロッパの鉄道は標準軌で1435mm、JRは狭軌1067mmです。いかに広いかが判ります。これだけ広い軌間でもあの揺れですから、狭軌ならもっと揺れるでしょうね。

4. 四季余部鉄橋(HDV)

前田 茂夫 11分50秒

H17/10月の余部初訪問以来H22年の新橋完成まで通って撮り貯めた映像の一部を四季でまとめたものです。新橋建設工事の初期の段階までの映像集ですが、コンクリート橋完成後は鉄道ファン、観光客とも予想されたとおりに激減しこれからどうやって余部の活性化を図るのが問題です。行政、地元とも道の駅を作り駅周辺を整備して公園にし、観光客の誘致に進みつつあります。余部詣でを重ねたファンの一人として余部の先行きはどうか心配です。

5. 笹キリコと若者たち(HDV)

河合 源七郎さん 11分28秒

8月25日に行われた輪島市輪島前町のキリコ祭りを撮影してこられました。この町の竹製のキリコは数あるキリコ灯籠の原型だそうで素朴な作りながら大漁旗で満艦飾に飾られています。観光客は作者以外に一人も見かけなかったそうです。それだけ素朴な祭と見ました。キリコの担ぎ手に大勢の若者達がいて、作品の題名にも引用されていますが、この若者達が町に常駐しているのか、祭りに合わせて帰省したのか

気になりましたが、勇壯で迫力のお祭りでした。さすがお祭りを撮るツボをよく心得ておられる作者だけに見事な撮影テクニックを駆使し見事な作品に構成されています。

6. 平城京への道 (HDV)

進藤 信男さん 14分53秒

暗峠から平城京までの後編です。先月は難波津から暗峠までの前編を拝見しました。作品は街道筋とそこに点在する史跡を一つ一つ訪ねて歩き、ナレーションで説明するオーソドックスな紀行作品です。前編後編の計 28 分を 1 本に纏めて、最後に歩いて感得した印象を自分の言葉で語ってくればもっと良い映写会作品になると思います。努力の賜物のような見事な作品でした。全行程 36km を 6～7 回に分けて歩かれたそうです。本当にお疲れ様でえした。

7. やさしくして (HDV)

宮井 健さん 4分00秒

小柳ルミ子の最新歌謡曲「やさしくして」に合わせて映像を繋いだ、いわゆる歌謡映画という分類の作品です。登場する女性はカラオケのお仲間だそうで、作者の演出で公園を歩いたりして主演の役をこなしていました。女性のお年を明かすのは失礼かも知れませんが、とうに還暦を過ぎておられるようですが、とてもそうは見え、五十代前半かなと思われました。作者もなかなかご交際が広いですね。

8. 神戸よさこい (HDV)

江村 一郎さん 7分10秒

神戸のよさこい祭りの作品、高知のよさこいは全国に広まって各地域に根付いたイベントになりました。よさこい節のメロディを一部取り入れ鳴子を持って踊るという基本スタイルを守れば、後は何でも自由という開放性が自由でダイナミックな楽曲と踊りを生み、全国の若者達に愛される所以なのなののでしょうか。広場での踊りだけではなく商店街での踊りも披露され、本場の雰囲気を感じました。この作品も要所要所にエフェクトを採用し映像に変化を付けて効果を上げています。SE をそのまま使っている訳けでもなさそうで楽曲の処理に苦勞されていることがよく判る作品でした。

9. 清水青竜会 (HDV)

森口 吉正さん 11分30秒

「東に流水のある所を青龍というとか。京都は東山山麓、清冽な清水が湧き出す清水寺は 正にその青龍の地。今日も多くの観光客が訪れます。」の名文句でナレーションが始まります。清水寺の法会だそうですが、大阪人は初めて見たという人がほとんどのようでした。行事は大きな竜が寺から出て、音羽の滝の前で一踊りして境内を行き、門前町へと繰り出していきます。青竜は途中で大きく吠えながら産寧坂の分岐点まで練り歩きました。これだけ見応えのある宗教行事ですが、何故かあまり知られておらず撮影目当てのカメラマンも少なかったようです。これまでの名水紀行とは趣の異なるいい作品に仕上がっています。京都にはこのような素晴らしい行事がまだまだ沢山有って、他所の人に知られることなく営々と続けられているようです。

10. 四天王寺ワッソ (AVCHD→DV)

船橋 喜敏さん 17分30秒

四天王寺ワッソを撮られた作品です。「ワッソ」とは何かと思ってネットで調べると、聖徳太子の時代「ワッソ、ワッソ」(韓国語で「来た」)とやってきた古代朝鮮半島の人々。この故事に源を発する「四天王寺ワッソ」は当時の様子を巡行で再現する。みこしの“ワッショイ”の掛け声は、韓国語の語源の“ワッソ”が日本語的に変化したと考えて名付けたんです、とありました。難波宮跡で開催された行事の記録作品なので時間が長くなりましたと作者の弁でした。広い緋絨毯の上を行進する朝鮮王朝使節団の一行のパレード映像はとても印象的でした。パレードの後は舞台でにぎやかでカラフルな踊りを披露し理屈ぬきで楽しめる作品でした。

11. 今風バンコクの結婚式 (HDV)

森田 光春さん 11分20秒

作者のバンコクの友人の従兄弟の結婚式を詳細に撮影してこられました。第一印象は相当裕福なご家庭で立派な結婚式を挙げられたものとの思いました。250 人の大披露パーティーも豪華でまばゆいばかりでした。今風と名づけていますが、昔風の結婚式を知らないのも、その違いが今ひとつ判りませんが、喜びにあふれた新婦の表情が印象的でした。実に丁寧に撮られております。作品をご家族に差し上げられた

と思いますが、さぞ喜ばれたことでしょう。

12. 美女と寺 (HDV)

関 剛さん 4分00秒

ハノイの孔子廟を訪れた作者はたまたま6～7人の美女達を目前にして撮られた作品でタイトル通りの内容でした。何かの撮影の後？だったのか、何故美女達が集まっていたのか作者も判らないとのこと。それにしてもあの美女達をとっさに撮影しお寺と絡めて短編を作る腕には脱帽です。

13. フランスの農家滞在 (HDV)

江藤 洋司さん 4分50秒

先月作品に引き続いて、今回もフランスの農家にホームステイした様子の一部を纏めた作品です。見知らぬ農家と個人的に英語でメールを交わし、了解を得て一人で旅立ち一日に1～2本のバスに乗って指定の停留所で降りて待っていると迎えに来てくれて訪問したそうです。英語の通じないフランスへ一人で出掛けて、しかも普通の農家に民泊するという度胸にまたも驚かされました。「田舎へ泊まろう」とかいう番組が一時はやりましたが、作者を追っ掛ければ、そのフランス編が出来そうですね。

14. 七谷川の桜 (HDV)

蟹江 利一さん 8分06秒

JR亀岡駅から10分位の所にあるお花見の名所の一つで、ネットで見たら「全国お花見900景」の一つとして紹介されていました。抜けるような青空の下でお花見を楽しむ人たちと桜の花を交互に描いています。この作品を見ると、日本人は本当に桜が好きで、桜の木の下でお弁当を広げる楽しみは昔から続いている風物です。この作品を拝見して、長らく「お花見」をしていないことに気付きました。来年は熱燭とお弁当をもって近くの三川合流地点の背割堤へ是非行こうと決心しました。

肖像権とどう向き合えば？

前田茂夫

H16年5月に個人情報の保護に関する法律が全面施行されてから、活動する場が限られてきているのではないかと、本来の法の趣旨を超越して、拡大解釈して個人情報だからいけないのだ。何かそのような気がします。何かあれば、すぐ個人情報だから…、ということで制約がかかります。最近ではテ

レビを見ても、個人の顔にボカシをかけたシーンが多くなり、顔を写さずに足元を写したシーンが多くなってきています。これも肖像権侵害への恐れで放映を萎縮しているからでしょうか。

私の知人から次のようなメールが来たので紹介します。知人は全国に幾つもある某放送局ビデオクラブに所属しており活躍されています。ところがやはり肖像権をめぐる問題が起こって以降、気をつけているそうです。「私のところでは身近な話題、イベントを取材し放送局に投稿することが盛んで私も年数回送っていますが、このビデオに収録した人の肖像権でもクレームを受けたという人がおりました。一般的には放映されることを喜び心待ちにする人が多いのですが、映像として流れるのを嫌がる人もおり注意が必要で撮影時にOKの承諾を得るようにしております。」とのこと。

また最近このようなことも有ったと聞きました。ある某テレビ放送局のカメラマンが取材中にカメラをパンニングした時に、たまたまカップルを映してしまったものをオンエアしてしまったそうで、そのカップルは不倫中だったようでばれてしまって関係者から訴えられたそうです。かように映像の持つ真実性から事態は思わぬ方向に飛び火し、TV局も街頭での不特定人物の撮影に神経を尖らざるを得なくなったのでしょね。

数年前ですが、ある会員さんの作品をOMC例会ニュースにアップしたら、そこに写っている人から制作者にクレームがあり、それを受けてその作品を削除したことを思い出しました。この時はあまり深刻に考えなかったのですが、肖像権の扱いに慎重に対応する必要があると痛感しました。

肖像権の問題はこれから気を配らないといけないと思います。これまであまり気も留めずに街頭でのスケッチ映像等の作品をネット公表してきましたが、今後は慎重に対応したいと思います。私達が撮影してきた映像を例会で上映し仲間内で楽しむのは他人の眼がないからいいのですが、ネットで公開したりするのは問題があると云わざるを得ません。今後は肖像権問題に抵触しない作品のネット公開を考えたいと思います。